

# ごあいさつ

本町では、これまで平成28年に策定した第9次那智勝浦町長期総合計画に基づき、「着実にわがらで創る笑顔のまち 那智勝浦」の実現のため、町内各所への津波避難タワーの建設や新病院の建設や消防署の高台移転等、防災・減災対策を始めとする各種施策を着実に進めてまいりました。

令和3年度には隣町である串本町にスペースポート紀伊が建設され、小型ロケットの打ち上げが始まる予定となっており、本町を含む紀南地方の発展にとっての明るい兆しもございます。

その一方、本町における人口減少や少子高齢化は進行しており、本町を取り巻く状況は一層厳しさを増しております。

また、昨年からの新型コロナウイルス感染症の全世界的な流行により、人々の行動・生活は大きく様変わりしており、日常を取り戻すにはまだまだ時間がかかるものと考えられます。

そのような状況の中、令和3年度からの5年間を計画期間とした「第10次那智勝浦町長期総合計画」を策定いたしました。本計画においては、国際的な共通目標となった持続可能な開発目標（SDGs）の視点を新たに取り入れつつ、「防災・減災対策の推進」、「福祉施策の充実」、「観光による活性化」を中心に、「住んでよかった・住み続けたい・住んでみたいまち」と多くの方々に思ってもらえるような、魅力あるまちづくりをより一層推進してまいります。

加えて、昨年12月にはゼロカーボンシティへの挑戦を宣言し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロの実現を目標とし、「那智の滝」に代表される豊かな自然を次の世代へ引き継いでいくためのまちづくりにも取り組んでまいります。

本計画の策定にあたり、計画案をご審議いただきました那智勝浦町長期総合計画審議会委員を始め、貴重なご意見、ご提言をいただきました多くの皆様に心から感謝を申し上げます。

今後とも町民の皆様には、本計画の推進に向けてご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和3年3月  
那智勝浦町長 堀 順一郎

